

第8回北斗市地域公共交通活性化協議会 書面開催結果

議案送付日 令和3年5月27日

○議件

1 委員の変更について（報告）

(1) 書面協議結果

承認する……24名 承認しない……0名

(2) 意見

なし

2 令和2年度決算報告及び監査報告について（報告）

(1) 書面協議結果

承認する……24名 承認しない……0名

(2) 意見

なし

3 巡回ワゴン運行計画（案）について（協議）

(1) 書面協議結果

承認する……24名 承認しない……0名

(2) 意見

①運行地区及び運行ルートについて

ア 運行地区について、3地域（茂辺地・石別、上磯、大野）を設定したことについて

○妥当……24名 少ない……0名 多い……0名

・ 今回のルートにない清川、久根別七重浜地区は現行の交通手段があるので設定は妥当だと思います。

イ 運行ルートについて、わかりやすさ、フィーダー系統としての接続が十分かどうか、バス停までの距離、ルートに含めた方がよい公共施設等について

- ・運行ルートの設定についても、適宜アンケート等により、検証願いたい。
- ・バス停については、函館バスと供用できるものは一緒にすることはできないか。
- ・市街地以外にフリー乗降区間を設定できないか。
- ・実車でルートを確認して来た時に、道路の幅員が1車線程度となっている狭い箇所が数か所ありましたので、安全面、冬期での走行へ若干、懸念がありました。フィーダー系統としてどこを接続の拠点とするか、考え方を整理する必要があります。
- ・幹線のバス時間帯を考慮していただき、良好です。
実証実験終了後、時間帯の変更等は事業者と協議していただけるようお願いいたします。
- ・デマンド方式により利用者が戸口で乗降出来る様な事は可能か？
※理想として利用者の多くは高齢者であるため。
- ・茂辺地地区では網羅されていると考えます。
- ・資料4-1①により茂辺地地区及び市ノ渡地区を含むフィーダー系統は十分考慮された物と評価いたします。
- ・何本かのうち一本はイオンまでとしたらいかがですか？
- ・特に、茂辺地地区や上磯地区などワゴンが地域内を巡回する運行ルートについては、少し入り組んでいるので、バス停などわかりやすい工夫が必要だと思います。

②運行日及び運行時間について

ア 運行日について、各地区週2回と設定していることについて

○妥当……24名 少ない……0名 多い……0名

- ・多いのに越したことはないが、移動販売車や病院の送迎車もあり、実証運行としては妥当と思う。
- ・日中の居住者が少ないところを運行するのだから2回が妥当だと思います。

イ 運行本数について、「茂辺地・石別～上磯」「上磯」は1往復、「大野」は2往復、いずれも概ね午前中の運行と設定していることについて

○妥当……22名 少ない……2名 多い……0名

- ・滞在時間が1時間と短いため、本数が必要ではないか。
乗り継ぎ利用を行い通院、買物する場合の滞在できる時間を教えてほしい。
(巡回ワゴン→バス→函館市立病院→バス→巡回) 滞在時間は？

- ・高齢者等の行動特性においては、早起きの者が多く、買物などの外出は午前中が多いことを考えると午前中の運行が適正であると考えている。
- ・①の考え方と同じであるが、要望によっては午前と午後に分散することも検討する必要があるかもしれない。
- ・当面は設定通りの運行です、とすべきで、今後の実際の利用勝手のフォローが必要。
- ・上磯地区ですが復路の時間が少し早いような気がします
午前中に乗って、病院や買い物、ランチの後に帰りにも利用できる時間帯なら尚良いと思います。（あくまで商業者の観点からです）
- ・午前中の運行に関しては賛成ですが、「茂辺地・石別～上磯」区間においては、少し時間帯が早い気がします。上磯商店街の平均開店時間がどれくらいかわかりませんが（一般的な店舗だと10時頃でしょうか？）、商店街の利用を促進するのであれば、この点も考慮した時間帯にしたほうが良いと思います。

③運賃について

ア 運賃について、各地区一律300円（ただし、茂辺地・石別地区内での乗降のみ200円。）と設定していることについて

○妥当……22名 安い……1名 高い……1名

- ・既存のバスが運行しない地域もまわり、利便性が高くなることから、既存のバス運賃よりは高めに設定することで、バランスがとられていると思います。
- ・実証実験終了後、検証はされるものと思われませんが、既存事業者との整合性を考慮していただけるようお願いいたします。
- ・100円～200円程度が望ましい。
- ・他の交通機関とのつり合いもあり妥当と思う。茂辺地・石別の料金設定は150円ではどうか（往復300円）
- ・回数券などでの割引も考慮すると妥当だと思います。
商店会で考えているような食事セット割や理容セット割でも運賃がそのくらいであれば「お買い物や食事で運賃分が実質無料です！」とやりやすいです（逆に運賃100円とかだとセット割の割安感がない）
- ・茂辺地・石別地区内での運賃のみ200円の設定理由？

○その他

1 主な乗り継ぎの想定について

- ・具体的なニーズが解らないが、函館市立病院は想定した方が良いのではないかな。
- ・バスについては、巡回ワゴンから函館市内中心である鉄路だけでは乗継ぎで行く事のできない美原や五稜郭へ行く系統との乗継ぎが想定される。鉄路と既存バスの役割分担を考えながら利用者へ周知を図りたいと思います。

- ・茂辺地・石別地区及び上磯地区においても上磯駅からのいさ鉄への接続が時間的にスムーズで利用勝手が良い

2 今後のスケジュールについて

- ・コロナ禍で各商店と細かな会議を開きづらいのでなにか決まりましたらメールでの一報で構わないのでお知らせしていただきたいです。

3 その他

- ・積極的な住民参加が必要であり、各種行事等でのバス利用やラッピングバス等についても今後検討されたい。
- ・地域事情やニーズを踏まえ、しっかり検討、設定されていると感じました。動画での発信、説明はとても分かりやすく理解できました。
- ・乗継ぎの利便性を高める為に乗継割引等、今後検討が必要と思います。
- ・新しいバス停設置の際、安全面（待つ場所）や待ち時間の有効活用（特売品をスマホで見る）等、工夫を図る。
- ・巡回ワゴン導入後、既存バス路線の運行時間や運行ルート等改善、改正を検討致したい。巡回ワゴンの利便向上につながるダイヤ改正を考えていく。
- ・大野地区の巡回ワゴン運行コースで、新駅から市渡線が既存運行バスと重複が見られますが、ルート変更の再考はないのでしょうか。
- ・交通弱者の日常生活での移動を利用目的としていることから、巡回ワゴンは速達性より利便性を求めるものだと想定される。
既存のバス停以外で今回の運行に合わせて設置するバス停の位置で、1 km以上離れているところ（押上稲荷神社前～上磯駅）もある。
説明のあったスーパー、病院、他の交通の乗り継ぎポイントなどに新設するのは理解できるが、住宅街を通る場所ではもう少しバス停を増やしてはどうか。
例えば、「バス停から300m以内の利用者を想定して、住宅にあってはバス停間の距離を600m以内を基本として停車可能な場所に設置している」など、バス停新設箇所について説明してほしい。
- ・茂辺地地区の住民ヒアリングにての要望が取り入れられたものと評価いたします。
- ・実証運行開始後に利用者アンケートの実施を予定されていますが、それに加えてバス停周辺（ルート沿線）の住民に対するアンケートの実施も検討されてはどうかと思います。利用される方は巡回ワゴンを利用したいと思ってポジティブな行動を起こしていると思いますが、周辺エリアの住民で利用しない場合（交通弱者でも）、利用しない理由やニーズが違う、PR効果が弱いなどの課題の掘り起こしもできるのではと思います。
- ・ポイントである交通弱者が主な利用者の立場の案、週の2回の利用、約1時間の滞在の利用など運行計画案すべて妥当だと思います。
今後のスケジュールですが利用者は女性が多いと思いますので実証運行を開始する時に出来たら女性委員の方と試乗各ルートを廻って意見交換がほしいですね